

【注意】「転移性腫瘍と診断された腫瘍」と「病理組織学的検査にて再発と診断された腫瘍」は、下記の多重がんルールを適用しない。

詳細は、「固形腫瘍における多重がんルール適用対象判定資料」を参照のこと (<https://ncc.ctr-info.com/text/>)。

<腎>

C649 (悪性リンパ腫・白血病 M9590-M9992 と カボジ肉腫 M9140 は対象外)

腫瘍数	ルール	項目内容	決定	備考		
不明	M1	単一腫瘍か複数腫瘍かが不明	⇒ はい	単発 注1: すべての情報を使用しても不明な場合に適用 注2: 情報が乏しい症例の例: ・死亡診断書情報のみの症例 ・情報が病理診断報告書のみの症例。例えば、生検や切除の病理報告書はあるが、それが単一腫瘍のものか複数腫瘍のものが特定できない例や、外来で生検を行いその後の情報がない例。		
		↓いいえ				
単一	M2	単一腫瘍である	⇒ はい	単発 注1: 単一腫瘍は常に単発として扱う 注2: 隣接部位・臓器に拡がった腫瘍を含む 注3: 上皮内癌と浸潤癌の混在症例を含む 注4: 複数の組織型を有する症例を含む		
		↓いいえ				
複数	M3	ICD-O局在コードの2~4桁 (CXXX) のうち、1桁以上が互いに一致しない複数の腫瘍である	⇒ はい	多重 注: 局在コードの上位から2、3、4桁目が異なる場合、原発部位が異なると扱う		
		↓いいえ				
	M4	両側に存在する腎芽腫症 (ウィルムス腫瘍) である			⇒ はい	単発 注1: 同時発生か異時発生かを問わない 注2: 時間間隔については問わない ※一側の腫瘍を診断後、後日対側の腫瘍を診断した場合を含む
		↓いいえ				
	M5	以下のいずれでもよいが、左右両方の腎に腫瘍が存在する ・両側の腎に各々一つの腫瘍がある ・一側の腎に一つの腫瘍があり、もう一側の腎に複数の腫瘍がある ・両側の腎に複数の腫瘍がある			⇒ はい	多重 注1: M1~M4が該当する場合は、適用しない 注2: 一方の腎腫瘍が対側腎腫瘍の転移であることが証明された場合は単発として登録する
		↓いいえ				
	M6	同時性・異時性発生を問わず、一側腎に非連続性に存在する複数の腫瘍の組織型が、「同義語と定義の表」右列において、異なる亜型/変異型である				
		↓いいえ				
	M7	同時性・異時性発生を問わず、一側腎に非連続性に存在する複数の腫瘍の組織型が、「同義語と定義の表」において、同じ太枠に所属している			⇒ はい	単発 注1: 腫瘍の性状コードは同じである必要がある。一つの腫瘍が上皮内癌で、他の腫瘍が浸潤癌であった場合、本ルールを適用せずにM8以降に進む 注2: 「同じ太枠」とは、以下のいずれかを指す ・すべての腫瘍が同じ組織型 (4桁の同じICD形態コード) ・1つの腫瘍の組織型が表中左列に該当し、他の腫瘍の組織型がその同義語 (中列) に該当 ・1つの腫瘍の組織型がいずれかのNOS (左列あるいは中列) に該当し、他の腫瘍がそのNOSの亜型/変異型 (同じ太枠内の右列) に該当
	↓いいえ					
M8	同時性・異時性発生を問わず、一側腎に非連続性に存在する複数の腫瘍の組織型が、「同義語と定義の表」において、異なる太枠に所属している	⇒ はい	多重 注: 腫瘍の組織型が互いに異なる太枠に属する場合、それらは明確に異なる組織型である			
	↓いいえ					
M9	浸潤癌の診断後、その浸潤癌と同側の腎で上皮内癌が診断された	⇒ はい	単発 注1: 本ルールは階層的であり、M1~M8が該当しない場合に適用すること 注2: 腫瘍はいずれかのNOSとそのNOSの亜型/変異型であってもよい (同義語と定義の表を参照のこと)			
		↓いいえ				

	M10	1つ目の腫瘍あるいは最後の再発腫瘍の診断から3年以内に同側腎に発生した腫瘍である（再発）	⇒ はい	単発	<p>注1: このルールはM1～M9が該当しない場合に適用すること</p> <p>注2: 再発として取り扱うのは、以下の場合に限る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「同義語と定義の表」において同一の組織型か、同じ太枠内の左列と中列（訳注:つまり左列の組織型の同義語）の組織型である ・両腫瘍がいずれかのNOSの組織型とその亜型/変異型である <p>注3: いずれかのNOSの組織型とその亜型/変異型である例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Renal cell carcinoma 8312とその亜型/変異型 ・ Rhabdomyosarcoma 8900とその亜型/変異型 ・ Sarcoma 8800とその亜型/変異型 ・ Small cell neuroendocrine tumor 8041とその亜型/変異型
	↓いいえ				
	M11	1つ目の腫瘍あるいは最後の再発腫瘍の診断後、満3年の間臨床的に再発を認めず（clinially disease-free）、その後新たな腫瘍が発生した	⇒ はい	多重	<p>注1: 臨床的に再発を認めない、とは、以下の検査にて3年間再発の証拠がないことをいう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ CT・MRI等の画像検査 ・ 尿細胞診 ・ その他すべての検査 <p>注2: 1つ目の腫瘍あるいは最後の再発腫瘍の診断日から3年以内に再発した場合、次の腫瘍の診断までの間隔の計算はリセットされ、その再発腫瘍が診断された時点からの計算となる。</p> <p>注3: 診療記録上再発に関する記載がない、もしくは不明な場合、腫瘍の診断日が当該間隔を計算する基準日となる。</p> <p>注4: 医師は、対象患者は過去に腎腫瘍に罹患したという意味で、後にできた腫瘍に対して「再発」と記載することがあるが、医師の記載をそのまま採用せず、本ルールに従うこと。</p> <p>注5: 新たな腫瘍の亜部位と組織型は問わない。3年を超えて腎に新たな腫瘍が発生した場合、常に多重として扱う。</p>
↓いいえ					
M10	上記のいずれも当てはまらない	⇒ はい	単発	注: 上位のルールがすべて適用できない場合のみ、適用する	

同義語と定義 腎 対象局在コードC649

《左列》 特異的または NOSの組織型		《中列》 左列の同義語	《右列》 左列または中列の亜型/変異型
コード	用語	用語	用語
8960	Nephroblastoma	Wilms tumor	
8312	Renal cell carcinoma NOS	RCC Sarcomatoid carcinoma Sarcomatoid renal cell carcinoma Unclassified renal cell carcinoma Succinate dehydrogenase-deficient renal cell carcinoma (SDHD) Succinate dehydrogenase-deficient renal cell carcinoma (SDHD)	Acquired cystic disease-associated renal cell carcinoma/tubulocystic renal cell carcinoma Chromophobe renal cell carcinoma (ChRCC) Clear cell papillary renal cell carcinoma Clear cell renal cell carcinoma (ccRCC) Collecting duct carcinoma Hereditary leiomyomatosis and renal cell carcinoma-associated renal cell carcinoma※ MiT family translocation renal cell carcinomas※ 注) 上記※印のついた2つの組織型には同じコードがついているが、 両者は右列の異なる、明確に異なった組織型である。 Mucinous tubular and spindle cell carcinoma Papillary renal cell carcinoma (PRCC) Renal medullary carcinoma
8800/3	Sarcoma 《注》Rhabdomyosarcoma 8900/3 は、下記の亜型/変異型に対するNOSでもある: ・ Alveolar type rhabdomyosarcoma ・ Embryonal type rhabdomyosarcoma ・ Pleomorphic rhabdomyosarcoma ・ Spindle cell/sclerosing rhabdomyosarcoma		Rhabdomyosarcoma / Alveolar rhabdomyosarcoma / Pleomorphic rhabdomyosarcoma / Spindle cell/sclerosing rhabdomyosarcoma Angiosarcoma Clear cell sarcoma/bone-metastasizing renal tumor of childhood Embryonal rhabdomyosarcoma Leiomyosarcoma Osteosarcoma Primitive/peripheral neuroectodermal tumor (pNET)/Ewing sarcoma Renal vein leiomyosarcoma Synovial sarcoma
8041	Small cell neuroendocrine tumor	Carcinoid [OBS] Small cell neuroendocrine carcinoma	Large cell neuroendocrine carcinoma/tumor Well-differentiated neuroendocrine tumor

《注》 ” / … (スラッシュ、組織型名) ”と記載されている組織型は、多重がんルールにおいて、直前に記載されている組織型と同じ亜型/変異型として扱う。
ただし、これらの形態コードは同じことも異なることもあるので、注意すること。